

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	安曇野シェアサイクル事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人安曇野市観光協会 〒399-8303 安曇野市穂高 5952-3 TEL(0263)82-3133
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大に関する事業 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,288,158 円 (うち支援金: 1,770,000 円)

事業内容

安曇野市内の観光事業打開のため、観光協会と市内観光事業者が協力してシェアサイクルシステムを導入・運営し、周遊バス、タクシーと連携の図られた二次交通の拡充を図ることを目的とする。初年度は実証実験として小規模(当初ポート5箇所・自転車20台、11月からポート5箇所・自転車5台追加)で事業を開始し、自転車に装着されたスマートロックのGPS機能を活用した走行ルート把握して利用者のニーズをつかむとともに、2年目以降に向けたステーションの増設、モデルルートの設定等の事業拡大のための基盤整備に務めていく。



【利用状況】

【目標・ねらい】

- ① サイクルポート 10 箇所を設置、自転車 25 台を導入
- ② Soft Bank のハローサイクルシステムを導入
- ③ 協会と観光事業者が連携した運営体制
- ④ モデルコースの設定、マップ作成準備

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

新たな移動手段を整備することで、今まで自転車での観光がしづらかった山麓地域への行動範囲が広がった。ポート設置場所を周遊バスの停留所、公共駐車場の付近とすることによってマイカーで来訪された観光客の滞在型、周遊型観光への動機付けを期待したい。また、システムの特徴であるGPS機能を活用したヒートマップの情報を分析することにより、利用者のニーズを把握し、次年度以降のポート設置の検討を行うことが可能である。さらに、安曇野本来の農村風景や、小川の小路などの魅力ある観光素材の掘り起こしも今後期待できる。

※自己評価【 B 】

【理由】新たな二次交通として利用いただきGPSデータも取得できたが、広報不足により利用が伸びなかったため次年度は利用率向上の方策を実施する必要がある。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

この事業はある程度の自転車台数とポートの設置が必要であり、これが整ってこそ本来のシェアシステムが稼動する。2019年度は自転車を25台追加し50台とするとともに、ポートも6箇所増やし16箇所とし、利用時間は24時間利用可能に設定を変更する。また、他の2次交通機関と連携したサイクルマップの作成、利用率向上のための方策の検討を実施していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある